



「歯科医師として」

歯科医師石櫻会

会長 小山田 榮二

平成29年6月の総会で、田中健一会長の後を受け、歯科医師石櫻会の会長に就任した新20回生の小山田榮二です。

歯科医師石櫻会は、岩手高校を卒業して歯科医師になった100名を超える方々を会員とする会です。同窓の歯科医師が集い、研鑽を積み、情報交換をし、懇親を深め、気軽に相談し、アドバイスや指導を受けられる会になればと思っています。歯科医師会で活躍している会員も多数いますし、人生経験豊かな会員もいますので、困りごと、悩み事をため込まずに話す、岩高のつながりを作りましょう。

私は歯科医師になって本当に良かったと思っています。皆様はどうですか？歯科医師に未来はないとか世間では言われていますが、未来はあります。歯のトラブルで悩む人は過去から今でもたくさんいて、それを解決できるのは歯科医師だけです。いくら名医でも歯学を学ばなければ治療はできません。食事も満足に取れない時の苦悩は計り知れません。適切な歯科治療を施すことにより悩みは解決し、笑顔で幸せな気持ちになります。そこで感謝の心が生まれ、「ありがとうございました」の言葉がもらえます。「ありがとう」の言葉は魔法です。かけてもらった人の気持ちも幸せにします。直接目の前で心からの「ありがとう」の言葉をかけてもらえる職業はそう多くはありません。

患者さんの痛みや悩みをどうしたら無くしてあげられるか、快適に暮らしていけるようにできるか考え、できうる限りの治療をし、保険指導をし、健やかに幸せな生活を作ることができます。幸せな人々に囲まれて生きることは私の幸せです。

私はその幸せをもたらしてくれる患者さんの、治療をさせてもらっています。歯科医院に来てくれて、口を開けてもらえなければ治療はできません。自分の得意分野の仕事をさせてもらって感謝です。それで私から患者さんに「ありがとうございました」の声をかけています。「ありがとう」の言葉があちこちから出て、幸せな気持ちが増えていく職業が歯科医療です。

近年は全身の健康に口腔ケアの必要性が叫ばれています。健康でおいしい食事をして長生きするためにも、歯科医療の役割はますます増えています。活躍しましょう。

掲載内容

- ・ 巻頭言
- ・ 平成29年度総会報告
- ・ 平成29年度講演会報告
講演1(新22回生)
中野 廣一 先生
講演2(新23回生)
(岩手医科大学歯学部
歯科放射線学教授)
小豆嶋 正典 先生
- ・ 石櫻トピックス
- ・ 役員名簿
- ・ 幹事会記録
- ・ 事務局からのお知らせ
- ・ 編集後記



平成29年度総会・講演会・懇親会報告



平成29年6月10日(土)ホテル・メトロポリタン盛岡本館において平成29年度歯科医師石櫻会総会・講演会が31名の会員出席のもと開催された。総会は、小山田榮二副会長の開会の辞、田中健一会長挨拶の後、大久保卓也幹事の司会で米内正会員が議長を務め、中野廣一幹事長より平成28年度会務報告、高橋賢司幹事より会員名簿関係報告、赤坂俊彦幹事より会計報告、村上修監事より会務・会計内容が適切である旨の監査報告があった。平成29年度事業計画等、会員名簿等について審議され原案通り可決承認された。つづいて、会長、監事の選挙が行われ、小山田榮二会長の新任および、村上修、池田健両監事の再任、ならびに田中健一前会長の顧問就任が承認され、村上修監事の閉会の辞にて総会を終了した。総会の後に座長を上原豊幹事が務め、中野廣一先生の講演「成人の歯科矯正治療の可能性と限界」、つづいて岩手医科大学歯学部歯科放射線学分野教授、小豆嶋正典先生の講演「歯科画像診断の進歩と臨床への応用」を拝聴した。

その後、熊谷哲也・西郷史郎幹事の司会のもと会員懇親会に入り、小山田榮二新会長挨拶、小枝指博同窓会会長より来賓挨拶をいただき、山田康平顧問の乾杯で祝賀会に入った。神奈川から馳せ参じてくれた、笠原一臣、志賀元一会員の挨拶を皮切りに、参加会員全員の近況報告が楽しく行われ、田中崇一幹事の音頭で岩手高校校歌を斉唱した。最後に赤坂俊彦幹事の中締めで祝賀会を閉めた。その後、田中崇一幹事の計らいでディエスオーチョにて2次会が行われ、深夜まで歓談し、石櫻同窓ならではの絆を深めるひと時を過ごした。(文責 中野廣一)



会員懇親会

参加者全員での校歌斉唱



講演 1

『成人の歯科矯正治療の可能性と限界』

中野 廣一 先生 (新 22 回生)

盛岡市開業

成人の歯科矯正治療は、咀嚼機能や審美的な改善のみならず、口腔環境の改善により歯周病などの歯科疾患の予防を図ることができ、生涯にわたる歯や口の健康を維持増進する上で重要です。しかしながら、成長発育期の個体と異なり、顎骨の成長を利用できず、細胞活性が低下しているため歯の移動に時間を要する、歯肉退縮(ブラックトライアングル等)が生じやすい、歯周病に罹患していることが多い、などの特徴があります。

“顎骨の成長を利用できない”に関しては、逆に成長発育という不確定要因にとらわれず治療計画を立案できるという利点があります。マルチブラケット装置へのセットアップ・インダイレクトボンディング法の適用は、より予知性をもって“goal-oriented”な治療結果につながります。“歯の移動に時間を要する”に関しては、歯の移動の促進策として、これまで骨の修復機転を応用した加速矯正法； corticotomy、corticision、micro-osteoperforation などが行われてきました。メタアナリシスやシステムティックレビューによれば、これらの加速矯正法の確たる効果は確認されておらず(Rohit C.L. Sachdeva, 久保田隆朗; 2016)、今後の研究発展に期待したい所です。“ブラックトライアングル等が生じやすい”に関しては、十分なブラークコントロール下で、弱い力を用い、可及的に歯根間を開大させない排列とする、などの対処で発生率を減らせる可能性があります。また、8歳から12歳頃までの早い時期の前歯部叢生の改善によりブラックトライアングルの発生率を減らせる可能性もあります。

“歯周病罹患者の矯正治療”に関しては、Artun ら(1988)も指摘しているように、炎症をコントロールされていない歯周疾患罹患者では歯の矯正移動により周囲の歯槽骨が破壊的に吸収することが知られており、矯正治療前に十分な歯周病の治療と管理を行っておく必要があります。そこで、歯周病罹患者の矯正治療開始にあたっては、以下の事項が全てクリアされている必要があります。すなわち、1) 全歯のプロビングデプスが3ミリ以下であること、2) プロビング時の出血が無いこと、3) 歯の動揺度に数か月間変化が無いこと、4) プラークコントロールレコードが少なくとも30以下、できれば10台であること、です。また、歯周病罹患者の歯の移動は、極力弱い力で(30g以下)、矯正治療中も炎症のコントロールとサポータティブペリオドンタルセラピーを継続する必要があります。

最後に、2015年に日本臨床矯正歯科医会の優秀発表賞を受賞した「下顎第二乳臼歯にヘミセクション法を適用して治療した下顎第二小臼歯の先天性欠如を伴う上顎叢生症例」についても紹介させていただきます。

Working procedure of the ortho-bracket resin veneer (BRV) method





講演 2

『歯科画像診断の進歩と臨床への応用』

小豆島正典 先生 (新 23 回生)

岩手医科大学歯学部 歯科放射線学教授

本講演では、パノラマ写真の読影のために必要な基本的知識を再度確認すると共に、学生時代に講義されなかったコンベーム CT や、癌検診などで良く耳にする PET について述べたいと思います。

パノラマ写真の読影には、良いエックス線写真が得られていることが必要です。パノラマ撮影は断層撮影であるため、歯列全体を断層域に含めるような位置決めが大切です。そのためには、眼耳平面を床に対して平行にすることと、前後の基準点を上顎犬歯に合わせることがポイントです。この位置決めこそが、画像診断の基本となります。次に、パノラマ写真では、特有の画像が描出されており、その画像が頭蓋骨のどの部分に相当しているのかを知っておかなければなりません。一般に下顎管は、上壁は下壁より描出されにくいので、外科的処置の時には注意が必要です。また下顎骨皮質が薄い場合には、骨粗鬆症が疑われることが、最近の研究で報告されています。

コンベーム CT (CBCT) は、一般用 CT と比較しますと、空間分解能が高いという点と照射野を局限させることにより被ばく線量を低減できるという利点がありますが、CBCT は散乱線が多いためコントラストが悪く、軟組織疾患の診断には適さないという欠点を有しております。CBCT を扱う際には、画像ファイルがど

のような種類なのか、パノラミック画像、歯列断面画像 (cross sectional image)、多断面再構成画像(MPR)がどのような画像なのかを知らなければなりません。また FOV (撮影領域) が小さい方が、繊細な構造がわかりますので、目的に合わせて FOV を決めなければなりません。

PET は、18F(フッ素 18)で印を付けたグルコース類似薬の FDG を経静脈的に投与することにより、悪性腫瘍の存在部位が画像化されます。PET は、従来のシンチグラフィーと比較し空間分解能が高く、10mm 以上の腫瘍があれば多くの場合その存在が描出されます。口腔領域の悪性腫瘍でも、扁平上皮癌や悪性リンパ腫、腺癌などほとんどの疾患で FDG の高集積が認められます。現在、PET と CT を同時撮影し、そこから得られる融合画像により診断を行っております。PET による被ばくは年間自然被曝の 1.5 年分に相当しますが、同時に行う CT による被ばくが圧倒的に多く、PET・CT によるトータルの線量は、自然放射線量で 4 年分の被ばく量になり頻回に PET 検査を受けることには注意が必要です。

位置決めポイント **コンベームCTは、軟組織の分解能が悪い**

- ✓ 眼耳平面を床と平行にする。
- ✓ 犬歯を断層域にいれる。

平成 29 年度 歯科医師石櫻会 総会・講演会・懇親会 参加者のご紹介



3 列左から：中村行寿、関 克典、志賀元一、赤坂俊彦、青木修治、西郷史郎、上原 豊、関根 元、高橋賢司、大久保卓也
 2 列左から：熊谷哲也、亀田幸宏、道又 元、駒井 茂、渡辺充泰、徳富 亘、笠原一臣、岡村賢治、田中崇一
 前列左から：伊保内利一、米内 正、小枝指博、田中健一、小豆嶋正典、小山田榮二、中野廣一、横澤昭平、山田康平、桂 啓文、村上 修 (敬称略)
 ※総会講演会出席 (集合写真欠席) 村田昌明

石櫻トピックス

ご存じですか、岩手県ラグビー発祥の地を。昭和 2 年に日本体育大学から岩手中学に来た広島英雄が、ラグビーを体育の授業にとりいれた。これが岩手でラグビーが行なわれた最初とされています。いつの日か岩高ラグビー部が花園で暴れる姿を見たいものです。(西郷史郎 記)



役員名簿

(任期:平成 29 年 4 月 1 日ー平成 31 年 3 月 31 日)

- 会 長** 小山田榮二
- 副会長** 小豆嶋正典
- 幹事長** 中野廣一 **副幹事長** 西郷史郎
- 幹 事**
- 学術** 上原 豊、田中崇一
- 会計** 赤坂俊彦、近藤 聡
- 庶務** 熊谷哲也、大久保卓也、内田良夫、菊池宗法
- 名簿** 波紫修一、高橋賢司
- 記録** 亀田幸宏 (ビデオ撮影、DVD・抄録作成)
- 広報** 関 克典、西郷史郎 (副幹事長と兼務)
- 地区** 道又 元、村田昌明、佐々木正博
- 学内** 岡田伸男 (学術と兼務)
- 顧問** 岡田宗二、横澤昭平、山田康平、田中健一
- 監 事** 村上 修、池田 健 (敬称略)

幹事会記録(抜粋)

平成29年度第1回幹事会

日時:平成29年5月24日(火) [於:「えんの蔵」]
 出席者:田中健一会長, 小山田榮二副会長, 中野廣一幹事長,
 赤坂俊彦, 亀田幸宏, 上原 豊, 熊谷哲也, 西郷史郎,
 高橋賢司, 大久保卓也, 田中崇一の各幹事,
 村上 修監事 (敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長より昨年度の事業報告:平成29年3月7日幹事会▼4月10日第9号会報・講演会案内等発送(130部)
 (2) 赤坂会計担当幹事より平成28年度の会計決算報告:
 <収入>収入合計447,015円(内訳:当日会費6,000×22=132,000、
 当日年会費5,000×9=45,000、振替入金5,000×30=150,000、振
 込入金5,000×20=100,000、雑収入20,000、決算利息15)
 <支出>支出合計401,492円(内訳:総会費245,922、講師謝礼
 70,000、車代10,000、資料作成費等59,896、香典(1件)5,000、自
 動振替手数料6,674)
 <収支> 447,015円-401,492円=45,523円
 (3) 会員名簿報告:高橋賢司会員名簿担当幹事より、波紫名簿担
 当幹事と相談の上、総会時に会員名簿(簡易版)を配布予定である。
 (4) その他の報告:(a) 熊谷庶務幹事より、会長・監事の立候補
 に関する報告:5月20日が締め切り日であったが、立候補者は無
 かった旨の報告があった。(b) 小山田副会長より、幹事会として
 の監事推挙案について、池田健現監事留任の内諾を得た旨の報告が
 あった。(c) 小山田副会長より、会員名簿、会報印刷関連報告とし
 て、35周年記念誌発刊の際お世話になったセイコー印刷と打ち合
 わせている旨の報告があった。

2) 審議事項

(1) 平成29年度総会、講演会に関する件
 ・6月10日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、
 懇親会を行う。講師は、中野廣一先生(新22回生)と小豆嶋正典
 先生(新23回生)
 (2) 平成30年度総会、講演会等に関する件
 ・6月9日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇
 親会を行う。講師は、青木修治先生(新36回生)と山田浩之先生
 (岩手医大歯学部口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野教授)。
 (3) 平成31年度総会、講演会等に関する件
 ・6月8日(土)に、H.メトロポリタン本館にて総会、講演会、懇
 親会を行う。講師は、上原豊先生(新39回生)と藤原隆麿氏(盛
 岡八幡宮宮司、岩手県神社庁長)(新24回生)。(文責:中野廣一)

平成29年度第2回幹事会

日時:平成30年2月23日(金) [於:「花の家」]
 出席者:小山田榮二会長、中野廣一幹事長、赤坂俊彦、上原 豊、
 熊谷哲也、波紫修一、西郷史郎、高橋賢司、大久保卓也、
 岡田伸男、菊池宗法の各幹事、村上 修監事(敬称略)

1) 報告事項

(1) 中野幹事長、大久保庶務幹事より今年度の事業報告:平成29
 年6月10日平成29年度総会、学術講演会(講師:中野廣一先生
 (新22回生)、小豆嶋正典先生(新23回生))、歯科医師石桜会懇
 親会(参加者数31名)
 ▼平成29年9月17日:千代川泰久先生(新10回生)ご逝去(78
 歳):会から御香典。
 (2) 波紫会員名簿担当幹事より会報第9号に同封の名簿掲載内容
 変更用紙の返信が数名から届いている。来年度総会時に「会員名簿」

を配布予定である(残りは平成31年春発行の会報11号に同封して
 配布予定)。個人情報の保護から岩手高校の事務からの情報提供が難
 しくなり、今後は歯科医師会の入会情報や各歯科大学の入学情報
 から同窓生を見つけてゆくしかない。情報があればご一報をいただ
 きたい。岡田伸男学内幹事より、平成29年度以降の岩手医科大学歯
 学部学生について調査する旨の報告があった。

2) 審議事項

(1) 平成30年度総会・講演会・懇親会は6月9日(土)夜5時か
 らH.メトロポリタン盛岡本館にて開催。
 (2) 平成31年度総会・講演会・懇親会
 6月8日(土)メトロポリタン盛岡本館にて開催。講演会講師は
 上原 豊先生(新39回生)と外部講師は藤原隆麿氏(盛岡八幡宮宮司、
 岩手県神社庁長)(新24回生)
 (3) 平成32年度総会・講演会・懇親会
 6月13日(土)メトロポリタン盛岡本館にて開催。講演会講師は
 岡田伸男先生(新44回生)と竹田浩人先生(新33回生)
 (文責:中野廣一)

事務局からのお知らせ

■ 会計からのお願い

年会費のご納入が未だでございましたら、下記
 口座へ5,000円のお振込をお願いいたします。銀行
 口座からの自動振替制度のご利用が便利です。
事務業務も大変簡素化され助かりますので、お手
 続きをよろしくお願いいたします。

■ 「銀行振込み口座」

東北銀行 大通支店(支店コード103)

(普通) 3162801 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦

■ 「口座振替依頼書」のお手続きの問合せ・送付先
 〒020-0016 盛岡市名須川町29-2 赤坂病院歯科
 歯科医師石桜会 会計 赤坂俊彦 宛
 TEL: 019-624-1225 FAX: 019-623-1825

■ みなさまの声を寄せ下さい

本会についてのご意見、ご要望、会員名簿のご
 訂正や名簿に掲載されていない岩手中高卒の歯科
 医師情報、会員のお悔やみ情報などがありましたら
 事務局までお知らせください。

歯科医師石桜会事務局

〒020-0837 盛岡市津志田町2-1-70

くまがい歯科クリニック内

TEL/FAX: 019-632-1188

E-mail: tetsu-tetsu@wish.ocn.ne.jp

編集後記

今回、会報第10号から編集の担当をすることになりま
 した。編集にあたって不備な点等が多々あると思いま
 す。頑張ってますのでよろしく願いいたします。
 さて、平成30年度は診療報酬と介護保険の改定があり
 ます。また、診療報酬の審査に関してはコンピューターで
 の審査完結を目指すという動きが始まっています。賛否両
 論はあるでしょうが医療、歯科医療をとりまく環境は多様
 な面で今後も大きな変化、改革が行なわれていくだろうと
 考えられます。
 良質な医療を提供するには医院経営の安定が絶対条件
 と考えておりますが、今後は歯科医師一人一人がこの意識
 を強く持って行かなければならないと感じております。
 (西郷史郎 記)